

早稲田大学 大学院法学研究科
2023 年度 修士課程入学試験問題 (国内受験)
【専修科目】

民事法学専攻

民事手続法

次の2問中1問を選択して答えなさい。

(答案の冒頭に、選択した問題番号を明記すること)

(1) 請負契約に基づく請負代金債権と同契約の目的物の瑕疵修補に代わる損害賠償債権の一方を本訴請求債権とし、他方を反訴請求債権とする本訴及び反訴が係属中に、本訴原告が、反訴において、上記本訴請求債権を自働債権とし、上記反訴請求債権を受働債権とする相殺の抗弁を主張することは許されるか。この問題に関する従前のいくつかの最高裁判例をふまえて、論じなさい。

(2) 留保所有権は、その設定者の倒産手続においてどのように処遇されるか。倒産手続における留保所有権の行使要件について判示した複数の最高裁判例を踏まえて論じなさい。

答案の書き方 (横書 / 縦書)

六法全書の使用を (認める / 認めない)